

養殖カキへい死に対する調査事業について

R 20721鳥羽市長
定例記者会見資料

【目的】

令和元年度に発生した養殖カキの大量へい死を受け、カキ養殖漁場での海域環境データを把握、分析し、生産者や水産関係者が海域の状況を共有することで、漁業活動における不安感の軽減と、持続可能なカキ養殖漁業の在り方を探っていく。

■事業概要（1）

◆養殖カキのへい死状況等のモニタリング（8月～毎月）

- ①今年度出荷予定のカキをちょうちんカゴに入れ、毎月、へい死状況を確認する。
- ②養殖漁業者の垂下連（ホタテガイ貝殻再苗器）をサンプルとして、へい死状況を確認する。

■事業概要（2）

◆養殖漁場環境のモニタリング（8月～毎月）

- ①主要漁場の水温、塩分、溶存酸素濃度（D O）を確認する。
- ②主要漁場のプランクトン発生量を確認する。

■実施地点

◆モニタリング実施地点

- ①小浜地区 1 地点
- ②桃取地区 1 地点
- ③安楽島地区 2 地点
- ④浦村地区 3 地点

■連携団体

◆事業実施連携団体

- ①鳥羽市
- ②鳥羽磯部漁業協同組合
- ③牡蠣養殖漁業者
- ④三重県
- ⑤志摩市
- ⑥三重外湾漁業協同組合



◀「自記式水温計」
を付けたちょうち
んカゴ

プランクトン発生
量は市水産研究所
で確認▶

